

高知大学初年次及び二年次「海外留学に関するアンケート調査」実施結果・分析

■本調査の目的

2020 年から続いたコロナ禍が落ち着いた現在、日本人留学者数は増加傾向にあるものの、未だコロナ禍前の水準には達しておらず¹、また、昨今の世界的な物価高や円安などによる留学費用の増加など、海外留学を取り巻く環境は絶えず変化している。高知大学は、2021 年に発表した「高知大学 Grand Design 2030」の中で、『希望者全員留学』の実現を通じて、キャンパスの国際化と国際性を涵養する人材の育成を図る」ことをビジョンとして掲げている²。このビジョンを実現するためには、学生たちが留学に対してどのような意識を持っているのかを知ることが重要である。本調査は、初年次及び二年次の学生の留学に対する意識を把握し、適切な留学支援のあり方を検討することを目的として実施した。

■調査対象

2024 年度高知大学 1 年生学生数 1,132 名（2024 年 5 月 1 日時点）

（人文社会科学部 297 名、教育学部 137 名、理工学部 249 名、医学部 179 名、農林海洋科学部 206 名、地域協働学部 64 名）

2024 年度高知大学 2 年生学生数 1,113 名（2024 年 5 月 1 日時点）

（人文社会科学部 284 名、教育学部 136 名、理工学部 248 名、医学部 176 名、農林海洋科学部 203 名、地域協働学部 66 名）

■回収率

1 年生 77.1%（回答数 873 名）

2 年生 10.3%（回答数 115 名）

■調査期間

2024 年 4 月 10 日（水）～5 月 21 日（火）

■調査方法

Microsoft Forms による Web アンケート

■過去の調査

	実施時期	対象	回収率	調査方法
第 1 回	2014 年 10 月	2014 年度入学者 1,124 名	80.1%	授業でアンケート用紙配布
第 2 回	2018 年 10 月	2018 年度入学者 1,135 名	94.2%	授業でアンケート用紙配布
第 3 回	2020 年 10 月	2020 年度入学者 1,109 名	79.7%	Moodle による Web アンケート
第 4 回	2021 年 10 月	2021 年度入学者 1,114 名	67%	Moodle による Web アンケート

¹ 文部科学省. “「外国人留学生在籍状況調査」及び「日本人の海外留学者数」等について”. 2024-05-24.

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/ryugaku/1412692_00003.htm, (参照 2024-08-20).

² 国立大学法人高知大学. “高知大学 Grand Design 2030－地域を支え地域を変えることができる大学へ－”. 2021, P.9.

【アンケート結果】

■留学への関心は引き続き高い

初年次では海外留学に興味がある学生が6割程度を占め、2021年度アンケート時の7割には届かないものの依然として多くの学生が海外留学に興味を持って入学してきている。1年生の大半は3ヶ月以内の短期留学を希望しており、高知大学での履修スケジュールに影響のない範囲での留学を志向している。留学を希望しない学生の多くは、海外への関心の低さ、語学面での不安、経済的事情等の理由を挙げている。留学の手段としては、協定校への留学を希望する学生が多く、自分自身で留学先を探すよりも、高知大学との交流実績がある留学先が求められている。

回答詳細

Q1. あなたの現在の海外留学への興味をお聞かせください。

▶ 1年生回答

表1：1年生のQ1選択肢ごとの回答者数及び割合

選択肢	割合	人数
①大変興味がある	18%	159
②興味がある	19%	170
③どちらかというに興味がある	29%	249
④どちらかというに興味がない	21%	180
⑤興味がない	13%	115

回答者 873

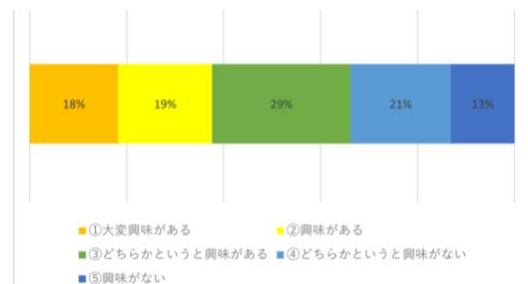


図1：1年生のQ1選択肢ごとの回答者割合

表2：1年生のQ1選択肢ごとの学部別回答者数及び割合

学部	①	②	③	④	⑤	人数計
人文社会科学部	30% (66名)	18% (40名)	25% (55名)	16% (35名)	11% (25名)	221名
教育学部	8% (9名)	13% (15名)	30% (35名)	26% (31名)	23% (27名)	117名
理工学部	15% (29名)	15% (29名)	27% (51名)	24% (45名)	19% (37名)	191名
農林海洋科学部	16% (23名)	18% (25名)	34% (47名)	22% (31名)	10% (14名)	140名
医学部	14% (21名)	32% (48名)	31% (46名)	16% (24名)	7% (10名)	149名
地域協働学部	20% (11名)	24% (13名)	27% (15名)	25% (14名)	4% (2名)	55名
合計	159名	170名	249名	180名	115名	873名

▶ 2 年生回答

表 3：2 年生の Q1 選択肢ごとの回答者数及び割合

選択肢	割合	人数
①大変興味がある	35%	40
②興味がある	26%	30
③どちらかというに興味がある	19%	22
④どちらかというに興味がない	11%	13
⑤興味がない	9%	10

回答者 115

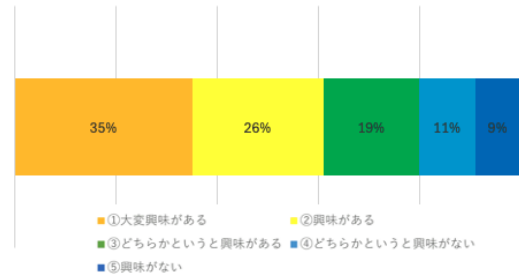


図 2：2 年生の Q1 選択肢ごとの回答者割合

表 4：2 年生の Q1 選択肢ごとの学部別回答者数及び割合

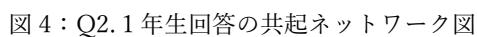
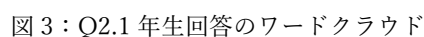
学部	①	②	③	④	⑤	人数計
人文社会科学部	45% (18名)	53% (16名)	27% (6名)	38% (5名)	10% (1名)	46名
教育学部	8% (3名)	3% (1名)	14% (3名)	15% (2名)	30% (3名)	12名
理工学部	8% (3名)	3% (1名)	23% (5名)	15% (2名)	20% (2名)	13名
農林海洋科学部	20% (8名)	13% (4名)	23% (5名)	0% (0名)	10% (1名)	18名
医学部	13% (5名)	20% (6名)	9% (2名)	15% (2名)	0% (0名)	15名
地域協働学部	8% (3名)	7% (2名)	5% (1名)	15% (2名)	30% (3名)	11名
合計	40名	30名	22名	13名	10名	115名

〈考察〉

留学に興味があると回答した 1 年生（①・②・③のいずれかの選択肢を選んだ学生）は、回答者数全体の約 6 割を占めており、程度の差はあるが海外留学に関心のある学生が多いことが分かる。学部別で見ると、人文社会科学部は、①・②・③を選択した学生が同学部回答者数の 7 割を占めており、また、「①大変興味がある」と回答した学生はその中でも 3 割に上っていることから、全 6 学部の中でも特に海外留学への関心が高い。人文社会科学部以外の 5 学部では、いずれも「③どちらかというに興味がある」と答えた学生の割合が最も多く、留学への関心度は人文社会科学部の学生ほど高くはない。

一方、留学に興味があると回答した 2 年生（①・②・③のいずれかの選択肢を選んだ学生）は全体の約 8 割を占めている。回答率から鑑みて、より留学に関心のある学生が本アンケートに回答していると推察されるが、「①大変興味がある」と回答した学生の割合が最も多いことから、留学をより具体的に考えていることがうかがえる。

► 1 年生回答



上記ネットワーク図は、Q2 に回答した 1 年生 284 名の記述を可視化したものである。サブグラフ 1～7 に分かれているが、特に 1～6 について、頻出単語や関係性などから以下のような回答の傾向がうかがえる。

- 01: (海外留学に) 興味が無い、自信が無い、日本が好き
- 02: 経済的な事情、海外に怖いイメージがある、親しい人々と離れたくない
- 03: 外国に行くのに抵抗がある、金銭的・時間的な余裕がない
- 04: 英語力への不安

■ 05:将来的なことを考えて留学に行かない、言語能力への不安

■ 06:海外の文化への苦手意識

また、図3からは海外での生活や治安に関する不安、英語など語学力の面や費用面での心配に関する言葉が目立つ。2021年度調査と比較すると、今年度調査ではコロナウイルスに対する不安を理由にあげる学生はいなかったが、昨年度同様に海外への関心の低さ、語学面での不安、経済的事情などが留学に興味を示さない主な理由であることが分かる。

▶ 2年生回答



図5：Q2.2 年生回答のワードクラウド

〈考察〉

上記図は、Q2に回答した20名の記述を可視化したものである。「海外」という単語が最も頻出ししており、「海外での生活に不安がある」「海外に興味がない、魅力を感じない」といった回答があった。また、次に多かった回答としては、言語面の不安、英語への苦手意識が挙げられた。その他、治安面、費用面での不安や、大学生活の多忙さ、ホームシックになる可能性や日本が好きだから離れたくないといった理由が挙げられた。なお、2年生については、回答数が少ないため、共起ネットワーク図は作成していない。

Q3. どれくらいの期間、留学等をしたいと考えていますか？

▶ 1年生回答

表5：1年生のQ3選択肢ごとの回答者数及び割合

選択肢	割合	人数
①1か月以内	40%	230
②1か月～3か月	32%	186
③3か月～6か月	11%	63
④6か月～1年	12%	67
⑤1年以上	6%	32

回答者 578

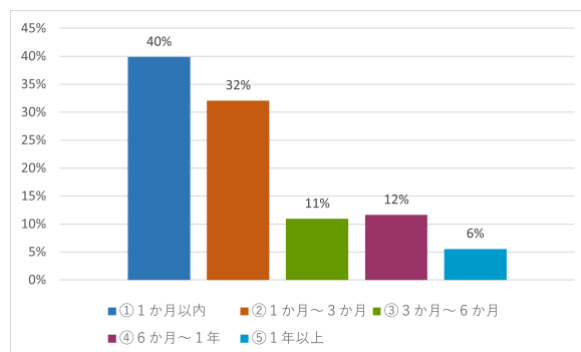


図6：1年生のQ3選択肢ごとの回答者割合

▶2 年生回答

表 6：2 年生の Q3 選択肢ごとの回答者数及び割合

選択肢	割合	人数
① 1 か月以内	27%	25
② 1 か月～3 か月	24%	22
③ 3 か月～6 か月	14%	13
④ 6 か月～1 年	28%	26
⑤ 1 年以上	7%	6

回答者 92

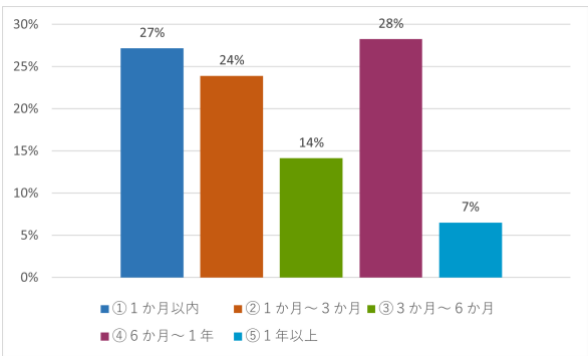


図 7：2 年生の Q3 選択肢ごとの回答者割合

〈考察〉

1 ヶ月以内及び 1～3 ヶ月以内と回答した学生が 1 年生では全体の 7 割以上、2 年生では約 5 割を占めており、高知大学での履修スケジュールに影響のない範囲での短期留学を希望する学生が多いことが分かる。また、2 年生では 6 ヶ月～1 年を希望する学生が多く、1 年生の回答と比較するとより長期な留学を希望する学生が多い。

Q4. Q3.で①を選択した方におうかがいします。

短期プログラム（1 か月以内）のどのようなプログラムに興味がありますか？（複数回答可）

▶ 1 年生回答

表 7：1 年生の Q4 選択肢ごとの回答者数及び割合

選択肢	割合	人数
① 語学研修（英語・中国語・韓国語・その他）	26%	122
② 環境問題や貧困問題に関する途上国でのフィールドワーク	12%	56
③ 外国政府機関・NGOの視察やインターンシップ	6%	27
④ 海外の学生との交流・ワークショップ	22%	101
⑤ 専門分野の勉強や研究	8%	39
⑥ 異文化体験	26%	120
⑦ その他	0%	2

回答者 467

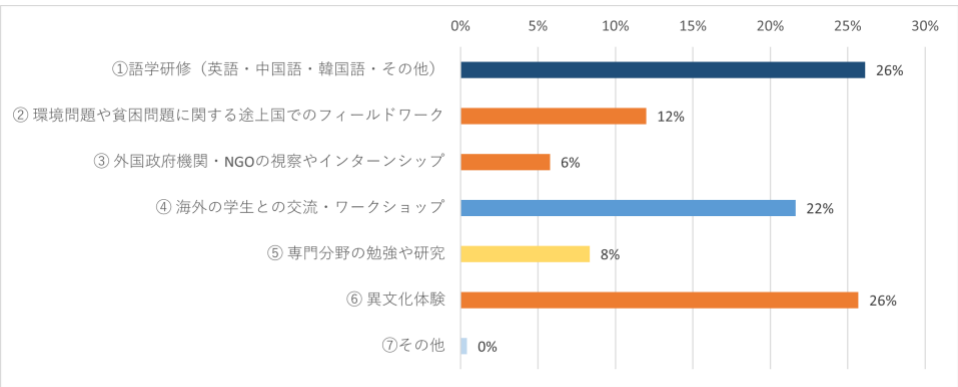


図 8：1 年生の Q4 選択肢ごとの回答者割合

▶ 2 年生回答

表 8：2 年生の Q4 選択肢ごとの回答者数及び割合

選択肢	割合	人数
①語学研修（英語・中国語・韓国語・その他）	31%	17
② 環境問題や貧困問題に関する途上国でのフィールドワーク	5%	3
③ 外国政府機関・NGOの視察やインターンシップ	2%	1
④ 海外の学生との交流・ワークショップ	20%	11
⑤ 専門分野の勉強や研究	7%	4
⑥ 異文化体験	35%	19
⑦その他	0%	0

回答者 55

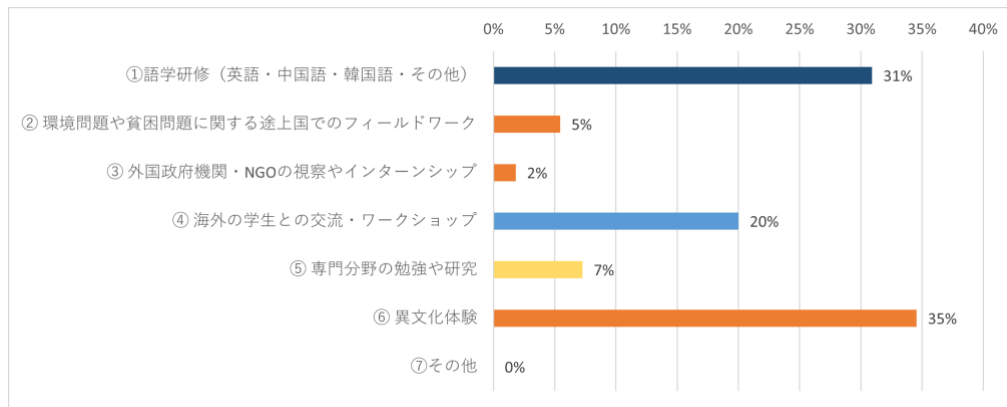


図 9：2 年生の Q4 選択肢ごとの回答者割合

Q5.（短期プログラム（1 か月以内）で）行きたい国や都市名を入力してください。（複数回答可、自由記述）

▶ 1 年生回答

表 9: Q5 で回答数の多かった上位 10 カ国・地域

行き先	人数
オーストラリア（シドニー、パースなど都市名での回答含む）	45
アメリカ（ロサンゼルス、ハワイなど都市・州名での回答含む）	33
イギリス（ロンドン、イングランドとの回答含む）	26
ドイツ	18
カナダ（バンクーバーとの回答含む）	13
韓国	13
フランス	12
イタリア	8
中国	7
台湾	7

回答者 178

▶2 年生回答

表 10: Q5 で回答数の多かった上位 5 カ国

行き先	人数
オーストラリア	6
アメリカ（シアトルなど都市名での回答含む）	4
マレーシア	3
カナダ	2
中国	2
回答者	16

Q6.（短期プログラム（1 か月以内）に）いつ参加したいですか？（複数回答可）

▶1 年生回答

▶2 年生回答

表 11：1 年生の Q 6 選択肢ごとの回答者数及び割合

選択肢	割合	人数
①夏休み中	54%	179
②冬休み中	18%	60
③春休み中	27%	90

回答者 329

表 12：2 年生の Q 6 選択肢ごとの回答者数及び割合

選択肢	割合	人数
①夏休み中	49%	21
②冬休み中	12%	5
③春休み中	40%	17

回答者 43

〈考察〉

Q4～6 は、学生の望む短期プログラムについて調査するための質問である。回答対象者は、Q3 で「1 ヶ月以内の留学を希望する」と回答した 1 年生 230 名、2 年生 25 名である。まず、プログラム内容に関する Q4 では、1 年生、2 年生とも語学研修、異文化体験、海外の学生との交流・ワークショップに興味があるという回答が多かった。Q5 及び Q6 の回答から、夏休み及び春休み期間中にオーストラリア、アメリカ、イギリスなどを行き先として、異文化体験のアクティビティを含む英語語学研修や協定校を通じて学生交流のプログラムなどを学生が求めていることがうかがえる。

Q7. いつ、留学をしたいと考えていますか？（複数回答可）

▶1 年生回答

表 13：Q 7 選択肢ごとの回答者数及び割合

選択肢	割合	人数
①1 年生のとき	21%	117
①2 年生のとき	47%	256
①3 年生のとき	22%	118
①4 年生のとき	5%	26
①5 年生のとき	5%	29

回答者 546

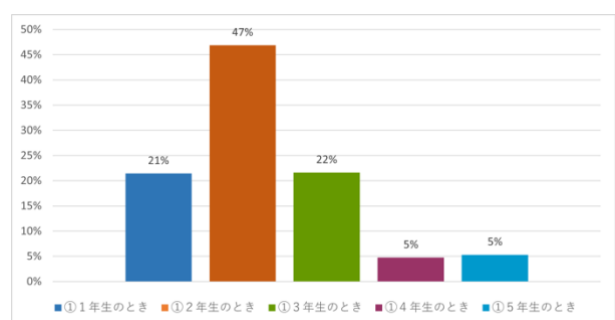


図 10：Q 7 選択肢ごとの回答者割合

▶ 2 年生回答

表 14：Q 7 選択肢ごとの回答者数及び割合

選択肢	割合	人数
① 1 年生のとき	3%	3
① 2 年生のとき	26%	26
① 3 年生のとき	51%	50
① 4 年生のとき	15%	15
① 5 年生のとき	5%	5

回答者 99

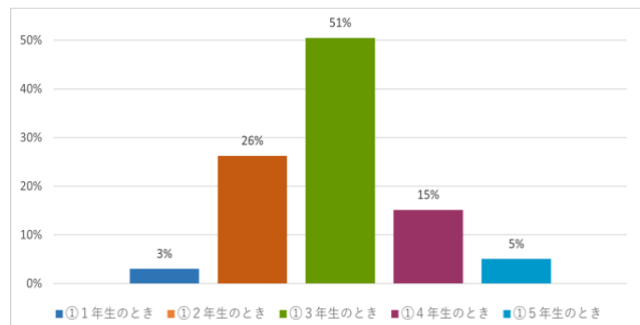


図 11：Q 7 選択肢ごとの回答者割合

Q8. どのような手段で、留学を考えていますか？（複数回答可）

▶ 1 年生回答

表 15：Q 8 選択肢ごとの回答者数及び割合

選択肢	割合	人数
①自分で学校を探す	26%	106
②協定校への留学	71%	290
③その他	3%	14

回答者 410

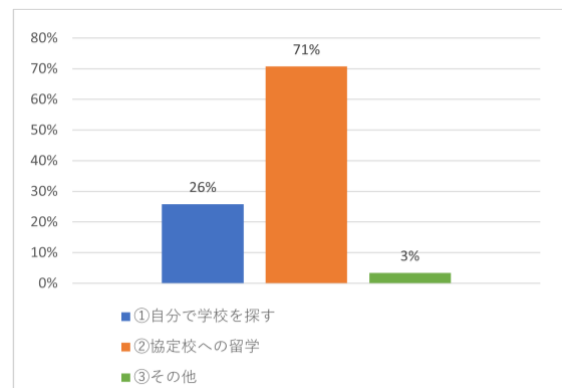


図 12：Q 8 選択肢ごとの回答者割合

「③その他」の回答詳細（抜粋）

未定、まだ分からない、青年海外協力隊に参加したい、知り合いのところにホームステイする

▶ 2 年生回答

表 16：Q 8 選択肢ごとの回答者数及び割合

選択肢	割合	人数
①自分で学校を探す	30%	25
②協定校への留学	68%	57
③その他	2%	2

回答者 84

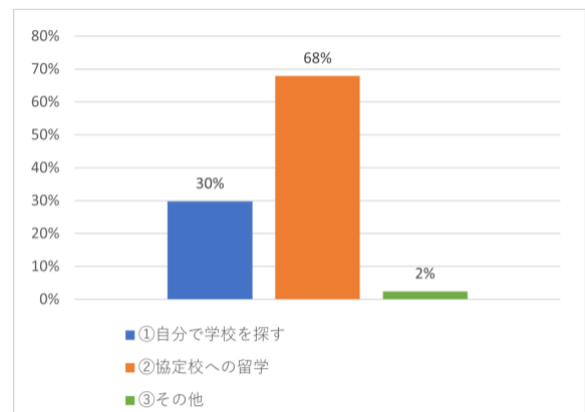


図 13：Q 8 選択肢ごとの回答者割合

「③その他」の回答詳細

インターンシップ、ボランティア、教授の紹介

Q9. 留学しない（できない）理由があるとしたら、それは何ですか？（最大3つまで選択可）

▶ 1 年生回答

表 17：1 年生の Q 9 選択肢ごとの回答者数及び割合

選択肢	割合	人数
① 留学にかかる費用が高く負担が大きい。	32%	625
② 留学と就職活動の時期が重なるかもしれない。	3%	66
③ 留学したら、卒業が遅れるかもしれない。	8%	149
④ 留学に必要な語学力が不足している。	29%	560
⑤ 事件・事故など海外での生活に不安がある。	15%	304
⑥ 海外ではなく、国内でやりたいことや目指したいことがある。	6%	127
⑦ 特にない。	3%	62
⑧ その他	4%	71

回答者 1964

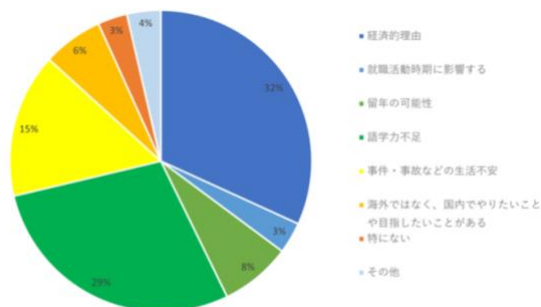


図 14：1 年生の Q 9 選択肢ごとの回答者割合

「その他」の回答詳細は以下のとおりである。

- ・部活動ができなくなるため。
- ・夏季休暇中に講義があり日程を合わせにくい。
- ・衛生環境や治安に不安がある。
- ・外国自体に興味がなく、食事の不安がある。
- ・海外に行く自信がない。
- ・心に余裕がない。

▶ 2 年生回答

表 18：2 年生の Q 9 選択肢ごとの回答者数及び割合

選択肢	割合	人数
① 留学にかかる費用が高く負担が大きい。	32%	82
② 留学と就職活動の時期が重なるかもしれない。	8%	21
③ 留学したら、卒業が遅れるかもしれない。	11%	27
④ 留学に必要な語学力が不足している。	28%	71
⑤ 事件・事故など海外での生活に不安がある。	9%	24
⑥ 海外ではなく、国内でやりたいことや目指したいことがある。	6%	15
⑦ 特にない。	2%	6
⑧ その他	4%	9

回答者 255

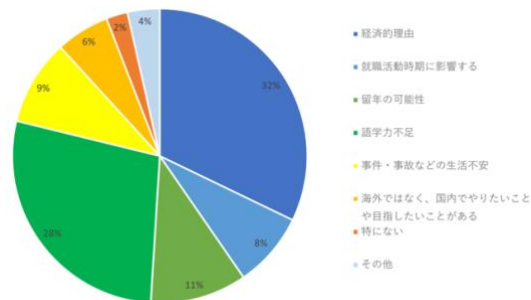


図 15：2 年生の Q 9 選択肢ごとの回答者割合

「その他」回答の詳細は以下のとおりである。

- ・大学で取得したい資格の実習や実験と重なるかもしれないため。
- ・教職と日本語教員課程の授業の関係（で難しい）。
- ・部活動の大会と重なってしまう可能性がある。
- ・長期休暇に（留学に）行く場合、実習の予定を把握しきれてないのでスケジュール調整できない。
- ・教職の資格も目指しているので、平行して取り組むことができるのか不安。

Q10.もし留学するとしたら大学にサポートしてほしいことを最大3つまで選択してください。

▶ 1 年生回答

表 19：1 年生の Q 10 選択肢ごとの回答者数及び割合

選択肢	割合	人数
① 奨学金等金銭的サポート	25%	549
② TOEFL・IELTSなど語学試験対策	11%	253
③ 留学手続き全般	23%	508
④ 定期的な留学関係情報の提供	4%	86
⑤ 必要に応じて留学相談	7%	149
⑥ 出発前のオリエンテーション	4%	97
⑦ 留学中の相談	11%	241
⑧ 帰国後の勉強サポート	5%	109
⑨ 帰国後の就活サポート	2%	50
⑩ 危機管理や感染症対策に関する情報やサポート	6%	131
⑪ 特にない	2%	51
⑫ その他	0%	2

回答者 2226

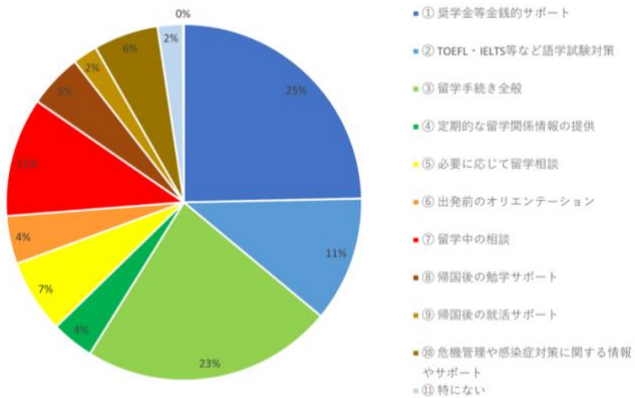


図 16：1 年生の Q 10 選択肢ごとの回答者割合

▶ 2 年生回答

表 20：2 年生の Q 10 選択肢ごとの回答者数及び割合

選択肢	割合	人数
① 奨学金等金銭的サポート	25%	79
② TOEFL・IELTSなど語学試験対策	12%	37
③ 留学手続き全般	24%	76
④ 定期的な留学関係情報の提供	5%	16
⑤ 必要に応じて留学相談	5%	17
⑥ 出発前のオリエンテーション	5%	16
⑦ 留学中の相談	8%	24
⑧ 帰国後の勉強サポート	2%	6
⑨ 帰国後の就活サポート	5%	15
⑩ 危機管理や感染症対策に関する情報やサポート	7%	23
⑪ 特にない	1%	4
⑫ その他	0%	1

回答者 314

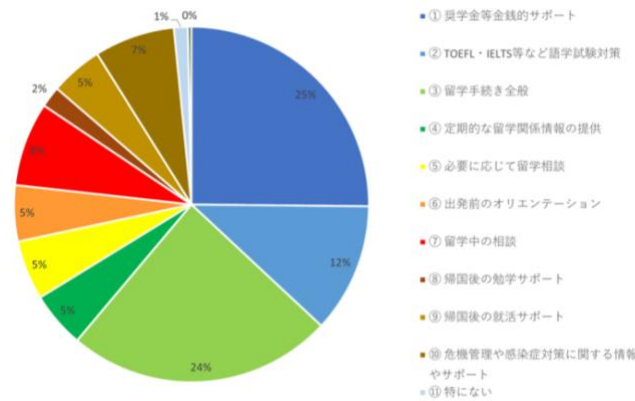


図 17：2 年生の Q 10 選択肢ごとの回答者割合

〈考察〉

Q9 について、1 年生、2 年生とも留学を躊躇する理由として、経済的理由及び語学力の不安がそれぞれ約 3 割に上っている。Q10 の回答からは、大学に奨学金などを通じた資金面での支援、留学手続きの支援が特に求められていることが分かる。昨今の物価高、円安の状況により、留学に必要な資金は増大する傾向にあり、資金面での支援をどう拡充させていくか検討する必要がある。

Q11. 将来、語学または国際的な知識や経験を活用した仕事に就きたいと思いますか？

▶ 1 年生回答

表 21：1 年生の Q 11 選択肢ごとの回答者割合及び人数

選択肢	割合	人数
①大いに思っている。	12%	109
②できれば就きたいと思う。	37%	325
③全く考えていない。	50%	439

回答者 873

▶ 2 年生回答

表 22：2 年生の Q 11 選択肢ごとの回答者割合及び人数

選択肢	割合	人数
①大いに思っている。	21%	24
②できれば就きたいと思う。	41%	47
③全く考えていない。	38%	44

回答者 115

Q12. 大学では長期休業中（夏休み・春休み）を利用した短期留学プログラム（Short-term Study Abroad Program）を提供しています。これは、共通教育科目・集中講義（2 単位）として開講され、全学部 of 学生が受講可能です。なお、参加費用は国によって異なります。あなたは、このプログラムに興味がありますか。

▶ 1 年生回答

表 23：1 年生の Q 12 選択肢ごとの回答者数及び割合

選択肢	割合	人数
① 大変興味がある。是非参加してみたい。	35%	122
② 興味がある。説明を聞いて検討してみたい。	16%	56
③ どちらかというに興味がある。	8%	27
④ どちらかというに興味がない。	29%	101
⑤ 興味がない。	11%	39

回答者 345

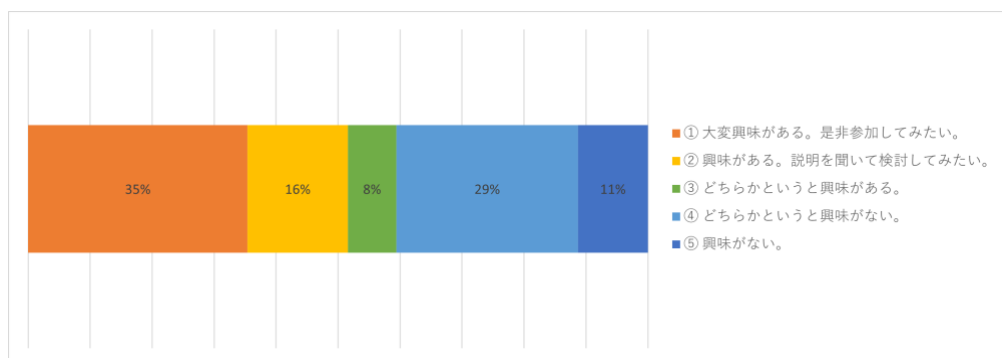


図 18：1 年生の Q 12 選択肢ごとの回答者割合

▶ 2 年生回答

表 24：2 年生の Q 12 選択肢ごとの回答者数及び割合

選択肢	割合	人数
① 大変興味がある。是非参加してみたい。	17%	20
② 興味がある。説明を聞いて検討してみたい。	30%	34
③ どちらかというに興味がある。	32%	37
④ どちらかというに興味がない。	8%	9
⑤ 興味がない。	13%	15

回答者 115

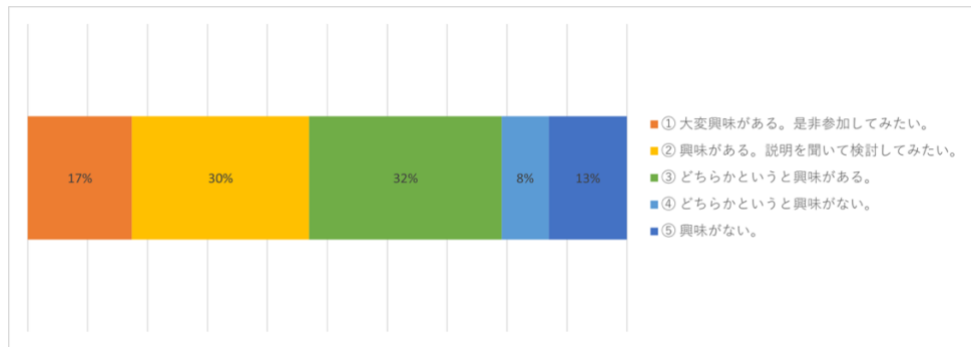


図 19：2 年生の Q 12 選択肢ごとの回答者割合

Q13. Q12 で①～③を選択した方は、どの地域への留学に興味がありますか？（複数回答可）

▶ 1 年生回答

表 25：1 年生の Q 13 選択肢ごとの回答者数及び「その他」選択肢の詳細

選択肢	人数
①中国	57
②台湾	105
③韓国	114
④インドネシア	59
⑤マレーシア	49
⑥タイ	69
⑦ベトナム	39
⑧フィリピン	83
⑨カザフスタン	10
⑩イギリス	242
⑪チェコ	61
⑫ノルウェー	146
⑬スウェーデン	196
⑭ポーランド	76
⑮フィンランド	148
⑯デンマーク	104
⑰アメリカ	312
⑱メキシコ	37
⑲ガーナ	25
⑳その他	71

「⑳その他」回答詳細

国名	人数
オーストラリア	29
カナダ	13
ドイツ	5
フランス	3
ニュージーランド	2
スイス	2
シンガポール	2
オランダ	2
アイスランド／イタリア／ギリシャ／ジョージア／スペイン／ポルトガル	各1

回答数 2003

〈考察〉

①～⑱までの選択肢は、高知大学の協定校がある国・地域をもとに設定している。

1 年生のうち、最も回答数の多かったのはアメリカで 312 名、2 番目に回答数の多かったイギリスは 242 名であった。その次に人気の高い北欧地域（スウェーデン、ノルウェー、フィンランド、デ

ンマーク)では4カ国合計で594名が興味ありと回答している。特に、スウェーデン、ノルウェーには毎年交換留学生が行っており、高知大学国際交流ホームページで公開している留学体験談を読んだり、留学経験者の上級生から話を聞いたりするなど、留学生活に関する情報を得る機会が他国に比べて多いと思われる。一方、アジア地域では、韓国及び台湾への関心が高いことが分かる。また、現在高知大学が協定を締結している大学はないが、オーストラリア、カナダなど従来人気のある留学先への関心も高いことが分かる。

▶ 2 年生回答

表 26：2 年生の Q 13 選択肢ごとの回答者数

選択肢	割合	人数
①中国	3%	12
②台湾	5%	19
③韓国	6%	23
④インドネシア	3%	12
⑤マレーシア	4%	15
⑥タイ	4%	16
⑦ベトナム	2%	9
⑧フィリピン	5%	20
⑨カザフスタン	1%	3
⑩イギリス	11%	41
⑪チェコ	3%	11
⑫ノルウェー	8%	30
⑬スウェーデン	9%	34
⑭ポーランド	4%	15
⑮フィンランド	7%	26
⑯デンマーク	5%	21
⑰アメリカ	12%	47
⑱メキシコ	4%	15
⑲ガーナ	2%	8
⑳その他	3%	11

回答者 388

Q14. 高知大学には、海外に留学できる協定校がたくさんあります（約 50 大学）。休学せずに、外国の大学で修得した単位を本学の単位として認定することができます。また、留学先の大学への授業料は不徴収です（留学期間中も本学への授業料は納入しているため）。

留学説明会が 4 月 17 日（水）に計画されていますが、あなたは興味がありますか。

▶ 1 年生回答

表 27：1 年生の Q 14 選択肢ごとの回答者数及び割合

選択肢	割合	人数
①参加してみたい	16%	140
②別日程であれば参加してみたい。	26%	230
③参加には興味がない。	58%	503

回答者 873

▶ 2 年生回答

表 28：2 年生の Q 14 選択肢ごとの回答者数及び割合

選択肢	割合	人数
①参加してみたい	34%	39
②別日程であれば参加してみたい。	24%	28
③参加には興味がない。	42%	48

回答者 115

Q15. 4月24日（水）に「留学フェア」があります。協定校の情報や協定校から本学に来ている留学生の話を聞く機会にもなります。この「留学フェア」に興味がありますか。

▶ 1 年生回答

表 29：1 年生の Q 15 選択肢ごとの回答者数及び割合

選択肢	割合	人数
①参加してみたい	22%	195
②別日程であれば参加してみたい。	19%	164
③参加には興味がない。	59%	514

回答者 873

▶ 2 年生回答

表 30：2 年生の Q 15 選択肢ごとの回答者数及び割合

選択肢	割合	人数
①参加してみたい	33%	38
②別日程であれば参加してみたい。	24%	28
③参加には興味がない。	43%	49

回答者 115

Q16. 高知大学では、英語力アップを支援する目的で、共通教育科目の「IELTS / TOEFL / 英検対策コース」や、自律学習支援センターが無料で定期的に提供している「TOEIC 講座」、「IELTS 対策講座」などがあります。あなたは、このような講座に興味がありますか。

▶ 1 年生回答

表 31：1 年生の Q 16 選択肢ごとの回答者数及び割合

選択肢	割合	人数
①大変興味がある。是非参加してみたい。	13%	111
②興味がある。検討してみたい。	23%	199
③どちらかというに興味がある。	36%	318
④どちらかというに興味がない。	17%	150
⑤興味がない。	11%	94

回答者 872

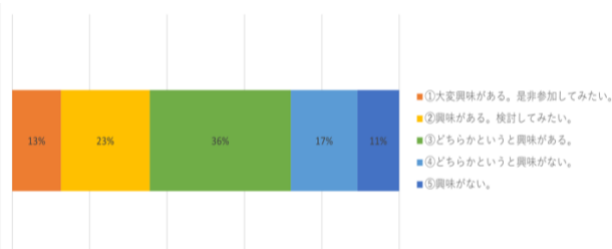


図 20：1 年生の Q 16 選択肢ごとの回答者割合

▶ 2 年生回答

表 32：2 年生の Q 16 選択肢ごとの回答者数及び割合

選択肢	割合	人数
①大変興味がある。是非参加してみたい。	19%	22
②興味がある。検討してみたい。	30%	35
③どちらかというに興味がある。	26%	30
④どちらかというに興味がない。	11%	13
⑤興味がない。	13%	15

回答者 115

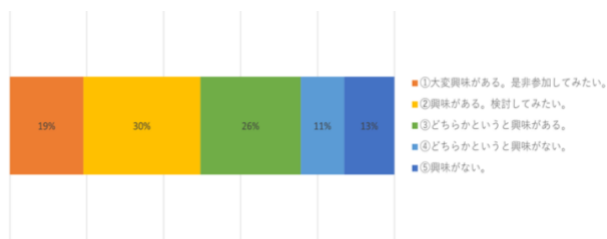


図 21：2 年生の Q 16 選択肢ごとの回答者割合

Q17. 高知大学ではオンラインでの海外交流・イベントも提供しています。そのようなイベントに興味がありますか。

▶ 1 年生回答

表 33：1 年生の Q 17 選択肢ごとの回答者数及び割合

選択肢	割合	人数
①大変興味がある。是非参加してみたい。	8%	72
②興味がある。検討してみたい。	19%	168
③どちらかというに興味がある。	31%	272
④どちらかというに興味がない。	25%	222
⑤興味がない。	16%	139

回答者 873

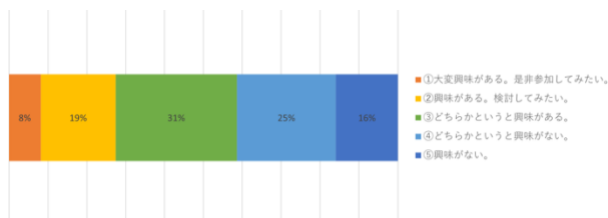


図 22：1 年生の Q 17 選択肢ごとの回答者割合

▶ 2 年生回答

表 34：2 年生の Q 17 選択肢ごとの回答者数及び割合

選択肢	割合	人数
①大変興味がある。是非参加してみたい。	11%	13
②興味がある。検討してみたい。	30%	34
③どちらかというに興味がある。	27%	32
④どちらかというに興味がない。	19%	22
⑤興味がない。	13%	15

回答者 115

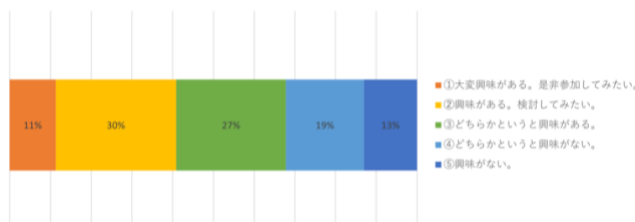


図 23：2 年生の Q 17 選択肢ごとの回答者割合

Q18. 海外渡航をする際は、本学の実施するプログラムや個人旅行などその目的に関係なく、海外渡航届を提出することになっています。このことを知っていましたか。

▶ 1 年生回答

表 35：1 年生の Q 18 選択肢ごとの回答者数及び割合

選択肢	割合	人数
①知っている	14%	121
②知らない	86%	752

回答者 873

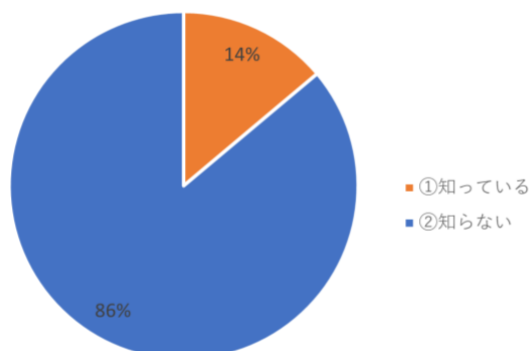


図 24：1 年生の Q 18 選択肢ごとの回答者割合

▶2 年生回答

表 36：2 年生の Q 18 選択肢ごとの回答者数及び割合

選択肢	割合	人数
①知っている	42%	48
②知らない	58%	67

回答者 115

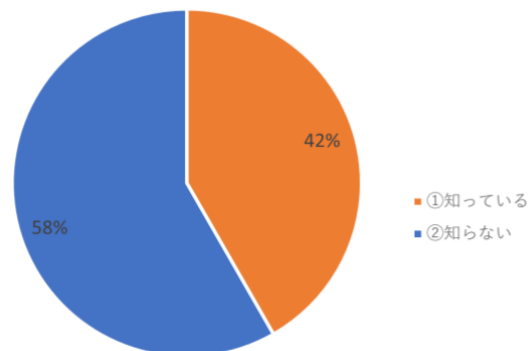


図 25：2 年生の Q 18 選択肢ごとの回答者割合

Q19. 海外渡航届は WEB から簡単に申請することができます。その WEB がグローバル教育支援センターの HP にあることを知っていましたか。

▶1 年生回答

表 37：Q 19 選択肢ごとの回答者数及び割合

選択肢	割合	人数
①知っている	3%	30
②知らない	97%	843

回答者 873

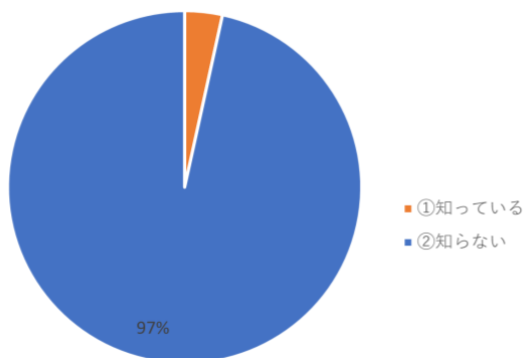


図 26：Q 19 選択肢ごとの回答者割合

▶2 年生回答

表 38：Q 19 選択肢ごとの回答者数及び割合

選択肢	割合	人数
①知っている	15%	17
②知らない	85%	98

回答者 115

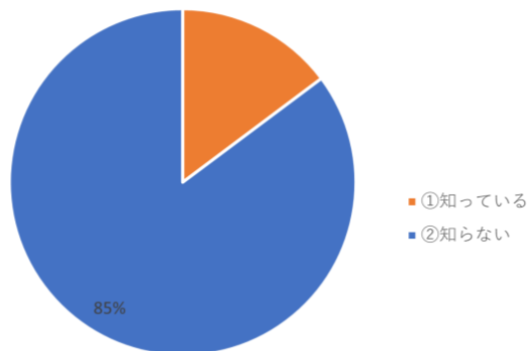


図 27：Q 19 選択肢ごとの回答者割合

■最後に：より適切な留学支援に向けて

今回の調査から、多くの初年次学生が海外留学に高い関心を持っていることが分かったが、その関心を維持し、実際に留学を実現する学生はそのうちの一部である。海外留学に関心があると回答した学生に対し、留学フェアやワークショップなどのイベント、語学検定対策講座の情報などグローバル教育支援センターが実施している各種留学支援に関する情報を幅広く広報し、参加を促進することにより、学生たちが留学への関心を維持し、留学実現に向けた次のステップに進めるよう支援していくことが肝要である。また、比較的短期間での留学を希望している学生が多かったことから、現在実施している短期留学プログラムの内容を今回の調査結果をもとに見直し、より学生の希望に沿ったプログラムを立案することで、同プログラムを通じて海外留学をする学生の増加が望まれる。上記に加え、学生からの希望が多かった経済的支援などを検討しつつ、「希望者全員留学」の実現に向けて、より適切な留学支援を実施していかなければならない。